

概 要

医事問題は学会と医会の合同委員会となっておりますが、現在のシステムは委員会、地方部会の担当委員、アンケートの方法と完成されています。医事問題は各地方部会に担当委員がいてアンケートを行い、それに基づいて主に訴訟になるような症例を集め検討し、毎年、「医療事故に関するアンケート調査結果」を作成しています。長年に渡るデータの積み重ねがあり大切な資料となっておりますが、多くは起きてしまった問題を記録しています。昨年来、朝蔭孝宏理事から医会はどういったスタンスで医事問題委員会に関わるのかという宿題をいただいておりますが、医会は学会とは別のものを目指さなければならぬと考えており、医療事故に関するアンケート結果の下にある膨大な数の事故とならなかった事例（“ヒヤリ・ハット”的な事例）を集めることができればと思っております。

医事問題委員会では医事問題セミナーと全国会議及びワークショップを開催していましたが、医事問題セミナーの方はより多くの会員に聞いて欲しいとの村上理事長の意向もあり、秋季大会の中に移動しました。より多くの、特に若い年代の会員の方々に医事問題に興味を持っていただきたいと願っております。